

研究課題名	難治性ネフローゼ症候群に対するリツキシマブ療法におけるインフュージョンリアクション発現リスク因子の検討
研究の意義・目的	リツキシマブは難治性ネフローゼ症候群の治療に用いられますが、しばしば投与時の発熱や悪寒などのインフュージョンリアクション(リツキシマブの投与に伴って現れる、インフルエンザのような症状を特徴とする過敏反応)の発現を経験します。しかし、どのような背景を持つ患者様に起こりやすいかは明らかになっておりません。そのため、インフュージョンリアクションの危険が高い患者様の特徴を明らかにする目的で本研究を行います。本研究の結果により、該当の特徴を持つ患者様の治療の際に、適切な注意喚起を行うことが可能になり、リツキシマブによるインフュージョンリアクションの発現を軽減できる可能性があります。
研究を行う期間	研究機関の長の研究実施許可後～2025年3月末
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2014年9月～2022年11月に大阪公立大学医学部附属病院で、難治性ネフローゼ症候群に対してリツキシマブを投与された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、身体情報、既往歴、検査データ、薬剤情報、診療記録】 リツキシマブの投与日 リツキシマブ投与前の身体情報(身長、体重、体表面積、BMI)、血液検査値(赤血球数、白血球数、血小板数、好中球数比率、好酸球数比率、好塩基球数比率、リンパ球数比率、単球数比率、アルブミン、AST、ALT、T-Bil、ALP、CRP、LDH、血清クレアチニン、eGFR、BUN、Hb)、併用薬の情報 リツキシマブ投与後のインフュージョンリアクション発現の有無
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学医学部附属病院薬剤部のみで行い、他の施設に情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学医学部附属病院薬剤部のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学医学部附属病院 薬剤部 西浦広将
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学医学部附属病院 薬剤部 西浦広将 電話番号：06-6645-2277 e-mail：nishiura.hironobu@omu.ac.jp